
**BtoB プラットフォーム受発注
取引データダウンロード
自動連動に関する
機能説明書**

買い手・売り手共通

更新履歴

日付	内容
2004/03/12	初版作成
2004/09/10	通信方法拡張に伴い、「1 機能概要」を変更 通信方法拡張に伴い、「3 自動ダウンロード機能」を変更 通信方法拡張に伴い、「3.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」を追加 通信方法拡張に伴い、「5 サンプル画面」を変更・追加
2004/10/26	受信ヘッダーサブコードの追加に伴い、「3.1.1 データ取得 Request として Post していただく内容」を変更 受信ヘッダーサブコードの追加に伴い、「3.1.2 ダウンロード取引データの受信」を変更
2006/02/01	各ページにダウンロードデータが存在しない時の注意書きを追加
2007/02/01	「2 ご利用時の注意事項を追加」を追加 「6 サンプル画面」の画像を変更 その他、各ページの文言等を修正
2007/05/16	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の「注意！」を一部修正
2008/07/17	「4 自動ダウンロード機能自動」の「注意！」を一部追加 「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」に設定要件を追記
2009/04/16	「4 自動ダウンロード機能自動」の「注意！」を一部追加(自動ダウンロードタスク実行時間について)
2009/06/26	「4 自動ダウンロード機能自動」の内容を修正
2009/11/11	「4 自動ダウンロード機能自動」の内容を修正
2011/01/20	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の「注意！」を一部追加(ドメイン指定について)
2014/11/21	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の FTP 接続方式を修正
2017/03/07	「4.3 FTP(FTP over SSL)にてデータファイルを受信する場合」を追加、FTP との記載を統一
2017/06/07	「4.3 FTP(FTP over SSL)にてデータファイルを受信する場合」に DHE 鍵交換方式の注意書き追記
2019/07/26	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の接続先 URL を変更 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」の接続先 URL とポート番号を変更
2020/11/30	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」に項目「ディレクトリ構成」・「注意事項」を追加 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」に項目「ディレクトリ構成」・「注意事項」を追加
2021/04/05	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の項目「ディレクトリ構成」の一部文言を削除 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」の項目「ディレクトリ構成」の一部文言を削除 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」の項目「注意事項」の一部文言を修正
2021/09/17	本仕様書のファイル名および表紙のタイトルを変更 旧:取引データダウンロード機能説明書 新:取引データダウンロード自動連動に関する機能説明書 「4.1 HTTPS にて取引データファイルを受信する場合」の HTML の例を修正 「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の接続情報を修正 「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」へデータが取得できなかった場合の処理を追加 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」の接続情報を修正 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」へデータが取得できなかった場合の処理を追加 「5.1 受信完了 Request として Post していただく内容」の HTML の例を修正
2023/3/30	目次の書式を変更 「2.2 二重取り込みの防止について」に Web 画面から手動でダウンロードした場合の注意事項を追加 「5 受信完了機能」に画面からダウンロードした場合の補足を追加
2024/05/30	「4.2 FTP にて取引データファイルを受信する場合」の項目「接続情報」・「利用方法」の記載を変更 「4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合」の項目「接続情報」・「利用方法」の記載を変更

目次

1	機能概要	1
2	ご利用時の注意事項	2
2.1	ファイルヘッダー、フッターの設定	2
2.2	二重取り込みの防止について	2
2.3	自動ダウンロード機能について	2
3	処理フロー	3
4	自動ダウンロード機能	4
4.1	HTTPSにて取引データファイルを受信する場合	5
4.1.1	データ取得 Request として Post していただく内容	5
4.1.2	ダウンロード取引データの受信	6
4.2	FTPにて取引データファイルを受信する場合	8
4.3	FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合	10
5	受信完了機能	12
5.1	受信完了 Request として Post していただく内容	12
5.2	処理結果の受信	13

1 機能概要

本機能はお客様 web 画面にて作成日時、検索条件やデータフォーマットを設定し、その設定をもとに順次、自動でデータを生成しダウンロードする機能です。

基本要件

- ・ 接続元 IP アドレスを固定 (Web ページにてダウンロードする場合は必要ありません)
弊社システムにて受信時に、予め定められた IP アドレスからの要求であることを確認します。
IP アドレスの照合に失敗した場合は、接続する事が出来ません。
- ・ 外部システム連携用パスワードを発行します。

事前設定事項

- ・ データフォーマット (ダウンロード設定)
お客様の Web 画面上【ダウンロード設定】にてファイルタイプや書式等、データの項目を
予め設定していただきます。
- ・ ダウンロードする取引データ作成のスケジュール
お客様の Web 画面上【タスクスケジュール機能】にてダウンロードする取引データの作成日時や検索条件、データ
フォーマット等を予め設定していただきます。

自動ダウンロード機能

お客様の Web 画面上【タスクスケジュール機能】にて設定した内容を元に作成された
取引データを受信します。

受信完了機能 (HTTPS 通信時のみ)

受信完了を弊社システムへ送信することにより、当該データを御社が取得成功したことを
弊社システムが認識します。お客様の Web 画面上の【ダウンロード依頼一覧】にて、
受信した取引データに[受信済み]と表示されます。
尚、この機能の処理は必須ではありません。

2 ご利用時の注意事項

取引ダウンロード機能を利用する際、下記の点にご注意下さい。

2.1 ファイルヘッダー、フッターの設定

ネットワーク回線の障害等によりダウンロードデータが正常に受信出来ない事を想定し、ファイルヘッダー、フッターは必ず設定するようにして下さい。

特に自社システム等にダウンロードデータを取り込まれている場合、ファイルヘッダー・フッターの内容が正しく作成されているかチェックするようにして下さい。万が一、ファイルヘッダー・フッターが正しくない場合、ネットワーク回線障害等により、全てのデータがダウンロード出来ない可能性があります。その際は、再度ダウンロードするようお願い致します。

2.2 二重取り込みの防止について

取引ダウンロードを利用し自社システムへ取引データを取り込みされている場合、誤操作等により同じ取引データをダウンロードし二重に取り込まないよう、ダウンロード項目として[取引 ID_SYSTEM]を設定するようお願い致します。

この[取引 ID_SYSTEM]は、システム上で管理されている各取引伝票のユニークな ID となります。このデータを自社システムに取り込む際にチェックすることで、二重取り込みを防ぐことが出来ます。

また、弊社システム Web 画面上の【ダウンロード依頼一覧】から手動で取引データをダウンロードした場合、「受信済み」(詳細は『5.受信完了機能』の項を参照)には更新されません。

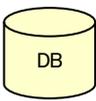
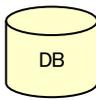
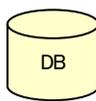
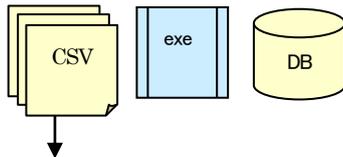
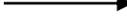
その後自動ダウンロード機能で HTTPS にて受信する場合にも対象になりますため、二重取り込みにご注意ください。

2.3 自動ダウンロード機能について

取引ダウンロードを利用し自社システムへ取引データを自動で取り込みされている場合、データ作成の完了時間が一定ではないことを考慮の上、受信時間や再取得の設定をして下さい。詳細は『4.自動ダウンロード機能』の項を参照して下さい。

3 処理フロー

自動ダウンロード処理の流れは以下のとおり。

お客様側	章番号 データの流れ	インフォマート側
事前作業		
外部システムから直接取引データファイルを受信する場合、インフォマートに外部システム利用の依頼を行います。インフォマートへ必要項目を連絡、その後インフォマートよりダウンロード機能用のパスワードを送付致します。		 送信元 IP アドレスの登録 ダウンロード用パスワードの登録
 【ダウンロード設定】 弊社サイトの Web 画面上の【ダウンロード設定】にてデータフォーマット（ファイルタイプや書式等またデータの項目）を登録して下さい。		
 【タスクスケジュール】 弊社サイトの Web 画面上の【タスクスケジュール】にてダウンロードする取引データを作成する日時、データの検索条件、使用するデータフォーマット（登録済みのダウンロード設定No.）を登録して下さい。 <small>※「区分=外部システム用自動ダウンロード依頼」</small>		
運用作業		
		【タスクスケジュール】をもとにダウンロード引データを作成 <small>※ 受信要求に対して複数のデータが存在する場合は、最も古いデータから順に取得します。</small> <small>※ 作成したダウンロード取引データは依頼IDで管理されています。</small> 
ダウンロード取引データを受信する為のリクエストを送信  お客様側のシステム	 第4章 	照合確認 照合の失敗やエラーがある場合 受信ヘッダコード（エラーコード）のみを送信 正常の場合 受信ヘッダコード（正常コード）を付加し ダウンロード取引データを送信
上記で受信したダウンロード取引データの受信完了（受信済み）にする為のリクエストを送信（依頼ID）  お客様側のシステム	 第5章 	照合確認 照合の失敗やエラーがある場合 送信ヘッダコード（エラーコード）を送信 正常の場合 送信ヘッダコード（正常コード）を送信

4 自動ダウンロード機能

お客様の弊社システム Web 画面上【タスクスケジュール】にて設定した内容を元に、作成されたダウンロード取引データを受信します。対象取引データを漏れなく取得する為には、運用時の注意事項があります。データの状況や処理依頼の状況が一定ではない為、作成完了の時間は一定ではありません。これを考慮した設定を以下の通り推奨します。

推奨 1 自動ダウンロードタスク実行時間の設定は 10 分程 間をあけて設定してください。

例) 10:00 までの取引データ(発注、発送など)を取得したい場合

⇒ 自動ダウンロードタスクの設定時間は 10:10 を推奨します。

下図「ダウンロードタスク処理イメージ」①に余裕を持たせて下さい。

推奨 2 ファイル取得はタスク実行時間から 10 分程 間をあけて実行してください。

例) 10:10 にファイル作成依頼が入るようにタスクを設定している場合

⇒ ダウンロードファイルを取得時間は 10:20 を推奨します。

ファイル作成処理が始まるまでの時間(下図「ダウンロードタスク処理イメージ」③)は一定ではありませんので下図「ダウンロードタスク処理イメージ」②に余裕を持たせて下さい。

ファイル作成の完了時間は対象の期間や伝票数、アクセス状況により、10 分を超過することもあります。上記は当日分や前日分など比較的短期間の伝票を対象にした場合の目安です。

運用開始後はファイル取得時間に十分な余裕があるか様子を見ていただき、適切な間隔に調整をお願いします。

推奨 3 ファイル取得が失敗することを想定し リトライ処理を実装してください。

処理の遅延や通信上の問題でファイル取得処理が失敗する可能性もありますので、リトライ処理の実装を推奨します。

例) データが存在する場合 ⇒ 正常終了確認後、データを削除

データが存在しない場合 ⇒ 5分間隔で数回リトライする(3回以上を推奨)

ファイル作成処理が完了する時間(下図「ダウンロードタスク処理イメージ」④)は一定ではありませんので、下図「ダウンロードタスク処理イメージ」⑤の部分でリトライを行ってください。

推奨 4 ファイル名を固定にする運用は行わないで下さい。

ファイルの取得後は FTP サーバ上のファイルを削除してください。

ダウンロードファイルは任意の名前に設定可能ですが、受信側システムの仕様による理由等、やむを得ない場合を除き、ファイル名が実行毎に一意になるよう可変項目(日付、連番)を入れる設定で運用して下さい。

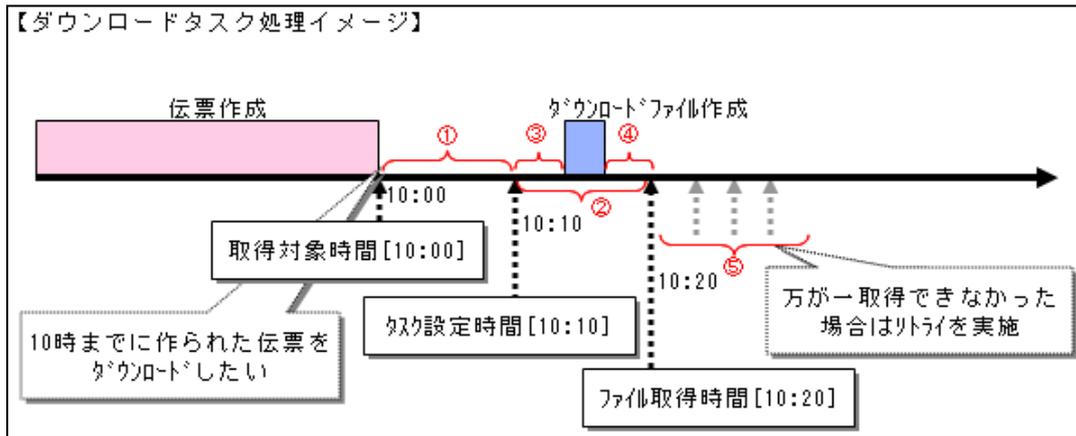
推奨する例) 固定名称+年月日+連番形式 ⇒ Download_yyyymmdd99.csv

推奨しない例) 固定名称のみ ⇒ Download.csv

ファイル名固定の設定では、通信上の問題等でファイル取得処理が失敗した場合、ファイル取得前に次のタスクの内容に上書きされる恐れがあります。

やむを得ずファイル名固定(実行毎に上書きされる)に設定している場合は、処理が遅延すると前回分のファイルを取得してデータが重複する可能性があります。万が一の重複を防ぐため取得後は FTP サーバ上のファイルを必ず削除して下さい。

ファイル名可変の設定にしている場合でも、二重取り込み防止のため、取得後は FTP サーバ上のファイルを必ず削除して下さい。



※ 受信するダウンロード取引データは【タスクスケジュール】設定時に「区分=外部システム用自動ダウンロード依頼」を指定して作成された取引データを対象とします。また、AM2:00～AM5:00の間は、タスクスケジュールで時間指定することはできません。

4.1 HTTPSにて取引データファイルを受信する場合

4.1.1 データ取得 Request として Post していただく内容

POST 先 URL: https://www.infomart.co.jp/trade/download/download_receive.asp

※ 受信要求に対して複数のデータが存在する場合は、最も古いデータから順に取得します。

- ① 会員コード(キー名:member_code) ※必須
弊社システムにて、Request 受信時に下記「データ送受信パスワード」と共に照合します。
会員コード・パスワードの照合に失敗した場合は、エラーコードを返します。
- ② データ送受信パスワード(キー名:dlpwd) ※必須
データ送受信に予め設定したパスワード(弊社システムの Web 画面上ログイン用とは異なる)
弊社システムにて、Request 受信時に御社会員コードと共に照合します。
会員コード・パスワードの照合に失敗した場合は、エラーコードを返します。
- ③ 受信ヘッダーサブコードフラグ(キー名:sub_code)
受信ヘッダーコードにサブコードを追加したい場合に指定してください。
“1”固定です(指定例:<input type="text" name="sub_code" value="1">)。
※ サブコードについては「4.1.2 ダウンロード取引データ受信」を参照
※ 必須項目ではありません。再受信の場合でも最新の情報を取得します。
- ④ 再受信フラグ(キー名:retry_dl)
前回受信したダウンロード取引データを再度受信したい場合に指定してください。
“1”固定です。
※ 必須項目ではありません。今回(新規)の取引データを受信する場合は指定しないで下さい。
- ⑤ データ取得フラグ(キー名:o_flg) ※必須
“1”固定です。

【重要】

この機能を利用するには、接続先の認証用グローバル IP アドレスをご利用会員様にて予め1つ以上(上限は原則4つ)後用意していただく必要があります。

HTML での例

下記の<form>～</form>を記載してください。

※ sub_code:受信ヘッダーサブコードフラグは必須項目ではありません

※ retry_dl:再受信フラグは必須項目ではありません

```
<form method="post" name="form1" action="https://www.infomart.co.jp/trade/download/download_receive.asp">
  <input type="text" name="member_code" value="????????"> 会員コード (※必須)
  <input type="text" name="dlpwd" value="????????">      データ送受信パスワード (※必須)
  <input type="text" name="sub_code" value="1">          受信ヘッダーサブコードフラグ
  <input type="text" name="retry_dl" value="1">         再受信フラグ
  <input type="text" name="o_flg" value="1">            データ取得フラグ (※必須)
  <input type="submit" value="送信">
</form>
```

4.1.2 ダウンロード取引データの受信

ダウンロード取引データの受信をします。

※ 受信要求に対して複数のデータが存在する場合は、最も古いデータから順に取得します。

受信内容		内容説明
HTTPヘッダ部	HTTP/1.1 200 OK	
HTTPボディ部	000000011219800000001333000001 (受信ヘッダーサブコードフラグを指定した場合。緑字がサブコード) 000000011219800000001333000001000000995000	受信ヘッダーコード ※下記参照
	(データ部/ダウンロード設定に準ずる)	データレイアウト・項目 必要な項目の選択、各々のデータタイプ等は弊社サイト上にて予め設定いただいた内容(ダウンロード設定)に従う 文字コード 英数字はASCII 2byte文字はS-JIS (JIS X 0201 と JIS X 0208)とする エンコード方法 URL Encodeを行う

※ヘッダ部の改行とボディ部の区切りはCRLF(0x0d+0x0a)とする。

※データなしまたはエラーの場合ボディ部は受信ヘッダーコード(サブコードフラグ指定時はサブコード含む)のみ。

HTTP ヘッダ部:受信ヘッダーコード例

0000 0001121980 0000001333 0 00001 1—4 5———14 15———24 25 26—30	
1桁から4桁	結果コード ※下記参照
5桁から10桁	依頼ID ※受信完了機能においてPOSTするID
15桁から10桁	タスクID
25桁から1桁	ダウンロード設定共有フラグ(0=個別、1=共有/子会員のみのみ)
26桁から5桁	ダウンロード設定No.

HTTP ヘッダ部:受信ヘッダーコードとサブコード(受信ヘッダーサブコードフラグを指定した場合の例)

0000 0001121980 0000001333 0 00001 000 000 995 000 1—4 5———14 15———24 25 26—30 31-33 34-36 37-39 40-42	
1桁から30桁	受信ヘッダーコード ※上記参照
31桁から3桁	依頼待ち件数
34桁から3桁	処理中件数
37桁から3桁	受信残件数
40桁から3桁	タスクNo.

HTTP ボディ部:データ部の例(出力内容はダウンロード設定に準じます)

<p>“ [データ区分] “, “ [伝票日付] “, “ [伝票 No] “, “ [自社コード] “, “ [自社会員名] “, “ [自社担当者] “, “ [取引先コード] “, “ [取引先名] “, “ [納品場所名] “, “ [自社管理商品コード] “, “ [商品名] “, “ [規格] “, “ [入数] “, “ [入数単位] “, “ [単価] “, “ [単位] “, “ [金額] “, “ [消費税] “, “ [小計] “, “ [合計 その他] “, “ [総合計] “, “ [発注日] “, “ [受領日] “, “ [取引 ID_SYSTEM] “, “ [伝票明細 ID_SYSTEM] “</p> <p>“D“, “2021/09/06“, “1640“, “SR500“, “カフェインフォーマット“, “インフォ太郎“, “Z1000“, “インフォマート物流株式会社“, “倉庫“, ““, “ラーメン“, ““, “0.00“, “未指定“, “980.00“, “個“, “980“, “0“, “980“, “0“, “980“, “2021/09/06“, “2021/09/06“, “1000046820“, “1”</p>
--

結果コード一覧

種別	コード	処理結果
正常終了	0000	正常終了
	0001	ダウンロード取引データなし
異常終了	0002	ダウンロード処理内部エラー ※【ダウンロード依頼一覧】より参照
認証エラー	0101	アクセス不許可
	0102	会員コード認証エラー
	0103	パスワード認証エラー
	0104	不許可ホストからのアクセス
内部エラー	0301	内部的なエラー
	0302	
	0303	
	0304	

4.2 FTPにて取引データファイルを受信する場合

■前提

- ① 弊社 FTP サーバは IP アドレス制限を行っているため、ユーザーが利用される固定グローバル IP アドレス(原則最大 4 つまで)を事前にご連絡ください。
- ② ユーザーのネットワーク環境によりましては、ファイアウォール機器等での通信許可設定が必要になります。

■接続情報

接続先 URL : <ftp://ccu3.infomart.co.jp/>

※接続先 URL は IP アドレスではなく、FQDN で指定してください。

IP アドレス: 151.145.68.223

※障害発生時、138.254.95 に切り替わる可能性があります。

FTP 転送モード: アクティブモード / パッシブモード (※パッシブモード推奨)

ユーザー側での許可ポートと通信の方向

FTP 転送モード	コントロールチャンネル	データチャンネル
アクティブモード	21(アウトバウンド)	20(インバウンド)
パッシブモード	21(アウトバウンド)	59700~59799(アウトバウンド)

■利用方法

アカウント : <会員コード>

パスワード: <弊社からお知らせするデータ連携用パスワード>

■ディレクトリ構成

種別	パス	備考
ルートディレクトリ	/	ディレクトリ一覧は表示不可
ホームディレクトリ	/<会員コード>	デフォルトのログイン先
アップロード用ディレクトリ	/<会員コード>/upload	
ダウンロード用ディレクトリ	/<会員コード>/download	
テスト用ディレクトリ	/<会員コード>/test	

■設定した条件にあてはまる伝票データがない場合

結果コードのみ記載されたファイルが DL されます。(ファイル内容の例は下記表を参照)

ファイル名: ダウンロード設定画面にてユーザーが設定された任意のファイル名 ※「4.自動ダウンロード機能」参照

0001 0030499158 0000001333 0 00535	
1—4 5———14 15———24 25 26—30	
1 桁から 4 桁	0001 固定
5 桁から 10 桁	依頼 i D ※受信完了機能において POST する ID
15 桁から 10 桁	タスク i D
25 桁から 1 桁	ダウンロード設定共有フラグ(0=個別、1=共有/子会員のみのみ)
26 桁から 5 桁	ダウンロード設定No.

■注意事項

- ① インターネット等のネットワーク環境の影響により、通信エラーが起こることがありますので、お客様側でリトライ処理の実装をご検討いただきますようお願いいたします。
- ② 弊社側定期メンテナンスにおいて、サーバ再起動を実施いたします。
この間、FTP 通信はご利用いただけなくなりますので、ご留意の程お願いいたします。

4.3 FTPS(FTP over SSL/TSL)にて取引データファイルを受信する場合

■前提

- ① 弊社 FTP サーバは IP アドレス制限を行っているため、お客様がご利用される固定グローバル IP アドレス(原則最大 4 つまで)を事前にご連絡ください。
- ② お客様のネットワーク環境によりましては、ファイアウォール機器等での通信許可設定が必要になります。

■接続情報

接続先 URL : <https://ccu3.infomart.co.jp/>

※接続先 URL は IP アドレスではなく、FQDN で指定してください。

IP アドレス:151.145.68.223

※障害発生時、138.2.54.95 に切り替わる可能性があります。

FTP 暗号化モード:Implicit モード / Explicit モード

FTP 転送モード :パッシブモード / アクティブモード(※パッシブモード推奨)

お客様側での許可ポートと通信の方向

FTP 暗号化モード	FTP 転送モード	コントロールチャンネル	データチャンネル
Implicit モード	パッシブモード	990 (アウトバウンド)	59700~59799 (アウトバウンド)
	アクティブモード	990 (アウトバウンド)	989 (インバウンド)
Explicit モード	パッシブモード	21 (アウトバウンド)	59700~59799 (アウトバウンド)
	アクティブモード	21 (アウトバウンド)	20 (インバウンド)

■利用方法

アカウント:<会員コード>

パスワード:<弊社からお知らせするデータ連携用パスワード>

■ディレクトリ構成

種別	パス	備考
ルートディレクトリ	/	ディレクトリ一覧は表示不可
ホームディレクトリ	/<会員コード>	デフォルトのログイン先
アップロード用ディレクトリ	/<会員コード>/upload	
ダウンロード用ディレクトリ	/<会員コード>/download	
テスト用ディレクトリ	/<会員コード>/test	

■設定した条件にあてはまる伝票データがない場合

結果コードのみ記載されたファイルが DL されます。(ファイル内容の例は下記表を参照)

ファイル名:ダウンロード設定画面にてお客様が設定された任意のファイル名 ※「4.自動ダウンロード機能」参照

0001 0030499158 0000001333 0 00535	
1—4 5———14 15———24 25 26—30	
1 桁から 4 桁	0001 固定
5 桁から 10 桁	依頼 i D ※受信完了機能において POST する ID
15 桁から 10 桁	タスク i D
25 桁から 1 桁	ダウンロード設定共有フラグ(0=個別、1=共有/子会員の場合のみ)
26 桁から 5 桁	ダウンロード設定No.

■注意事項

- ① インターネット等のネットワーク環境の影響により、通信エラーが起こることがありますので、お客様側でリトライ処理の実装をご検討いただきますようお願いいたします。
- ② 弊社側定期メンテナンスにおいて、サーバ再起動を実施いたします。
この間、FTPS 通信はご利用いただけなくなりますので、ご留意の程お願いいたします。
- ③ 弊社側で定期的に SSL 証明書更新を実施いたします。この際、お客様環境によりましては、お客様側で新しい証明書を承認していただく必要がございますので、ご対応の程お願いいたします。

5 受信完了機能

受信完了を弊社システムへ送信することにより、当該データを御社が取得成功したことを弊社システムが認識します。

弊社システムの Web 画面上の【ダウンロード依頼一覧】にて、受信したダウンロード取引データに [受信済み] と表示されます。尚、この機能の処理は必須ではありません。

※Web 画面上の【ダウンロード依頼一覧】から手動で取引データをダウンロードした場合は [受信済み] とは表示されません。

POST 先 URL: https://www.infomart.co.jp/trade/download/download_transmit.asp

5.1 受信完了 Request として Post していただく内容

- ① 会員コード (キー名: member_code)
弊社システムにて、Request 受信時に下記「データ送受信パスワード」と共に照合します。
会員コード・パスワードの照合に失敗した場合は、エラーコードを返します。
- ② データ送受信パスワード (キー名: dlpwd)
データ送受信に予め設定したパスワード (弊社システムの Web 画面上ログイン用とは異なる)
弊社システムにて、Request 受信時に御社会員コードと共に照合します。
会員コード・パスワードの照合に失敗した場合は、エラーコードを返します。
- ③ 依頼ID (キー名: batch_id)
ダウンロード取引データの受信で取得した受信ヘッダーコード内の依頼ID
弊社システムの Web 画面上の【ダウンロード依頼一覧】にて、指定した依頼IDが [受信済み] と表示されます。
- ④ データ取得フラグ (キー名: o_flg)
“1” 固定です。

HTML での例

下記の<form>〜</form>を記載してください。

```
<form method="post" name="form1" action="https://www.infomart.co.jp/trade/download/download_transmit.asp">
  <input type="text" name="member_code" value="????????"> 会員コード
  <input type="text" name="dlpwd" value="????????"> データ送受信パスワード
  <input type="text" name="batch_id" value="???"> 依頼ID
  <input type="text" name="o_flg" value="1"> データ取得フラグ
  <input type="submit" value="送信">
</form>
```

5.2 処理結果の受信

受信完了の更新が正常に終了したかを受信します。

受信内容		内容説明
HTTPヘッダ部	HTTP/1.1 200 OK Content-Type: application/octet-stream	Content-Type (主タイプ)/(サブタイプ) 主タイプ: "application"とする。 サブタイプ: "octet-stream"とする。
HTTPボディ部	00000001121980000001333000001	受信ヘッダコード ※下記参照

※ヘッダ部の改行とボディ部の区切りはCRLF(0x0d+0x0a)とする

受信ヘッダコード例

0000 0001121980 0000001333 0 00001	
1—4 5———14 15———24 25 26—30	
1桁から4桁	結果コード ※下記参照
5桁から10桁	依頼ID ※受信完了機能においてPOSTするID
15桁から10桁	タスクID
25桁から1桁	ダウンロード設定共有フラグ(0=個別、1=共有/子会員の場合のみ)
26桁から5桁	ダウンロード設定No.

結果コード一覧

種別	コード	処理結果
正常終了	0000	正常終了
認証エラー	0201	アクセス不許可
	0202	会員コード認証エラー
	0203	パスワード認証エラー
	0204	不許可ホストからのアクセス
	0205	更新対象の依頼IDなし
内部エラー	0401	内部的なエラー
	0402	
	0403	
	0404	